第４回福井市地域生活交通活性化会議　議事要旨

日時	平成３０年１２月２１日（金）１３：３０～１４：４５
場所	福井市役所企業局５階　大ホール
議題	別添「次第」の通り
	【協議事項】 議案１．京福バス「池田線」の廃止に伴う代替手段について （事務局が資料１に基づいて説明）
委員	資料１の２．代替手段の有無の検討の中で、大野線５９系統のダイヤ調整を京福バスと協議するとなっているが、既に具体的な調整はされているのか。
事務局	大野線については大野市との調整も必要ということで、今の段階で具体的なダイヤは決定していない。神明北～篠尾東間については５９系統のみが運行する区間となっているため、７時２８分福井駅着の５５系統は利用できず、現状では８時３２分福井駅着となってしまっている。この部分について大野市とも協議をした上で運行時刻を早められないかと考えている。
委員	バス路線で高校生の利用者はいるのか。今後、福井市内の高校へ進学する学生の足はあるのか。
事務局	池田線については現状では高校生の利用はないと聞いている。今回の議題では福井市内にあたる折立から北側の地域について、地域バスの増便を行い、大野線もしくは越美北線に乗り継いでいただき福井市内の高校へ通学できるようにしているものである。一方、池田町民の方で高校に通学される方がいる場合は、現状では越前市の方へ出るバス路線もある。また、池田町の方で独自の交通手段を４月１日より運行され、通勤や通学に対応するものとして設定されると聞いているため、一定の対応ができると考えている。
座長	対象となる美山地区の生徒については学校教育課などとの連携で、どれだけの利用があるかは事前に判断できると思うので確認をお願いしたい。
委員	池田町の方で進めている独自の交通手段については、来年の１月に最終的な方針が示されると思うが、福井市内を運行区間とするため、その情報については本会議の委員の皆様にもお伝えしなければならない。会議の開催もしくは書面協議という形で共有していただきたい。運行形態としては片道３０キロを自家用車で、

	地域住民がドライバーとして運行するのは負担が大きいということで、先日の池田町の公共交通会議では美山駅で大野線や越美北線に接続できないかという意見も出ている。福井市内にバスの停留所を設置するということになった場合、福井市にも了解を得るべきと考えているため、このような会議の場で諮っていただききたいと考えている。連携できる部分については市町で連携してほしい。池田町へ目的を持って行く方は、福井市民でも利用することができるので、将来的には美山地域バスとも連携がとれるのではないかと考えている。
事務局	情報共有については、池田町と連絡を密に取り合い実施していく。
座長	特に異議がなければ承認ということでよろしいか。 異議なし、承認。 議案２．コミュニティバス「すまいる」の運行計画の変更について （まちづくり福井、京福バスが資料２に基づいて説明）
委員	北ルートが逆回りになることについて、停留所の位置も変わることになると思うが、この点について警察署に確認は取っているということでよろしいか。
委員	まだ全ての確認を取れてはいない。清水委員がおっしゃるとおり全ての停留所が、道路の反対側に移転するため、地元や警察署との確認作業中である。
委員	すまいるバスの別の会議にも出席している関係で今回の変更内容については少し驚いている。南ルートについて試走段階では３０分かかっていたため、３５分ダイヤに設定するという話にその会議ではなっていたが、今回の変更案を見ると１周２６分や２７分のダイヤとなっている。利用者からの分かりやすさという点で３０分毎のダイヤを提案し続けているのだが、このようなダイヤ設定にした理由を教えていただきたい。また、可能であれば３０分ダイヤにしていただきたい。
委員	事業者としても全てのルートを３０分ダイヤで回すことが理想的であると考えている。運転手からのヒアリングでも意見が分かれているところではあるが、ひとまずは今回の案で運行してみて、次のステップとして理想的なものに近づけていきたいと考えている。
委員	１周２６分という書かれ方をしていたので、それなら３０分ダイヤでできるのではないかと思ったのだが、やはり遅れ運行が発生してしまう関係か。

委員	２回の試走で年間の運行が推し量れるものではないというのもあり、一度今回の案で運行し、実績を作り、次のステップへという前提で考えている。遅れ運行も考慮しての２７分の所要時分と考えていただきたい。
座長	試走はどの時間帯に行っているのか。実際のところ朝夕が遅れとなって、昼は普通に動かせるのか。
委員	そういった部分についても、かなりのサンプルを取らなければ推し量ることができないところがあり、もう少しサンプルを集めて結論に至りたいと考えている。
座長	ルート変更前の傾向はある程度分かるのではないか。また、今の交通状況ありきで考えるのではなく、啓発活動のようなものを行い、バスの優先道路ではバスに道を譲るなど、ドライバーの配慮を向上させ、定時性を改善していくといった考え方も必要なのではないかと思う。
委員	７時台のダイヤ追加について、１時間近くダイヤを前倒しすることによる影響については事業者と協議しているのか。遅れ運行となった場合に回復運行ができないため、運転手にとっては過酷な環境となっている。苦情を受けて運転手を辞めてしまうということもあるので、所要時分については、運転手からヒアリングをするなど して検討していただきたい。 また、丸岡線について車いすの利用者がおり、東横イン前が終点となっており、利用しづらいとの声を聞いている。今回のすまいるバスの４月１日からの再編にあわせて可能であれば、終点を福井駅西口にしていただきたい。
委員	南ルートと西ルートで新しく７時台のダイヤを設定しているこの時間帯については、路線バスを運行している京福バスとも調整をしている。
委員	所要時間については慎重にデータを重ねて判断していきたいと考えている。丸岡線については利便性の点から考えると、西口終点の方が望ましいが、運行距離が伸びると行政への負担にもつながってくるので、福井市と協議した上で検討していきたいと考えている。
事務局	資料の確認について、まず北ルートについて新設停留所に松本２丁目も含まれると思う。廃止停留所について駅前商店街停留所も含まれると思う。最後に南ルートの廃止停留所について板垣４丁目が抜けていると思うがいかがか。
委員	資料の訂正をお願いする。

座長	特に異議がなければ承認ということでよろしいか。 異議なし、承認。 議案３．酒生地域コミュニティバス（酒生いきいきバス）のルート変更について （事務局が資料３に基づいて説明）
座長	特に異議がなければ承認ということでよろしいか。 異議なし、承認。 その他
委員	清水中学校では冬季間のスクールバスの運行をＰＴＡが主体となって行っている。現在およそ９５名が当該バスを利用しており、冬季間の約４０日間バスが運行している。料金については１回の利用につき一律６５０円と設定されている。一方で、大東中学校では冬季間は大東中学校線という路線バスが運行していると聞いている。越廼中学校や美山中学校は地域バスを利用することができる。中学校の半径６キロを超える地区の生徒については遠距離通学費補助が半額まで出る。他の地域ではそのような対応をしているのに、清水地域では短い距離であっても一律６５０円というのは何とかならないのかという話が出ている。この場でお話するのはどうなのかという思いもあったが、情報共有の場として今回報告させていただいた。ハブ化されている清水プラント３を活用して、大東中学校線のような路線バスが冬季間だけでも走っていただけるとありがたいと考えている。
委員	教育委員会の話になるが、スクールバスを運行するかどうかの基準として、学校の統廃合を行った場合は、教育委員会の方でスクールバスを出している。地域バスについては合併した地域で運行しており、美山、越廼については過疎地区という位置づけになっており、もともとスクールバスが運行していたものに一般の方が混乗される形となっている。遠距離通学に対する補助については中学校では６キロ、小学校では４キロで補助が出ていると聞いている。また、教育委員会の方で来年度からスクールバスの実態については調査をするという話も聞いている。
委員	大東中学校線については当時の藤岡中学校が休校になった際に福井市と協議して、学校が統廃合した結果、運行を開始したものと聞いている。そういった特殊な経緯がある路線であると認識いただければと思う。 以上